

ハンファグループのサムステックウィン およびサムスン総合化学の買収について

- サムステックウィンの株式の32.4%を8,400億ウォン*₁で取得
- サムスン総合化学の株式の57.6%を1兆600億ウォン*₂で取得
- サムスタレス、サムストタルの共同経営権も確保

ハンファQセルズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 キム・ジョンソ）の親会社である、ハンファグループ（本社：韓国・ソウル、会長：キム・スンヨン）は、サムスングループのサムステックウィン及びサムスン総合化学の株式を取得し、ハンファグループ傘下とすることを決定いたしました。これら一連の買収により、ハンファグループは韓国国内において、石油化学事業(売上規模1兆800億ウォン*₃)と防衛事業(売上規模2兆6,000億ウォン*₄)の二分野において最大規模の企業となります。

ハンファグループはサムステックウィンの株式の32.4%を取得することで筆頭株主となり、経営権を取得しますが、サムステックウィンがサムスタレスの株式を50%所有していることから、ハンファグループはサムスタレスの共同経営権も同時に取得いたします。

またハンファグループは、サムステックウィンが23.4%※株式を所有しているサムスン総合化学の株式57.6%※も取得するため、サムスン総合化学の株式を合わせて81%※を保有することになり、経営権を取得することになります。その結果、石油化学の基礎原料であるエチレンの生産規模が世界9位の291万トンに拡大され、ナフサ調達におけるコスト競争力の向上が期待できるようになりました。またサムスン総合化学はサムストタルの株式50%を保有していることから、ハンファグループはサムストタルの共同経営権も同時に取得いたします。

この一連の買収を通して、ハンファグループは韓国における企業資産規模で10位の位置から9位となる見込みです。

ハンファQセルズジャパンの代表取締役社長 キム・ジョンソは、次のように述べました。「当社は1984年以来、石油化学事業を中心に日本市場でお客さまとのパートナーシップを通し、実績を築いてまいりました。さらに2010年からはハンファグループの強みを生かし太陽光発電事業に参入し、2013年の出荷量が国外企業として1位になるまでに成長いたしました。このたびの一連の買収による新しい体制と規模の利点を生かし、事業間のシナジーを追求することで、さらに日本のお客さまにご満足いただける製品とサービスを提供してまいります。」

*1 1ウォン0.1円換算で840億円

*2 1ウォン0.1円換算で1,060億円

*3 1ウォン0.1円換算で1兆8,800億円

*4 1ウォン0.1円換算で2,600億円

※ 自己株式を除く

問い合わせ先

ハンファQセルズジャパン株式会社

東京都港区芝4丁目10番1号

03-5441-5928 info@hqj.co.jp

広報担当：小林

【ハンファ Q セルズジャパン株式会社について】

1984年に韓国最大手企業であるハンファグループの日本法人として設立。2014年3月に設立30周年を迎えた。太陽光発電関連事業（太陽光モジュール輸入販売、IPP事業）をはじめ化学品、鉄工、機械・設備、自動車部品、IT関連機器等、多分野にわたる基幹産業のアジア諸国間での輸出入業務と日本市場での販売事業を展開している。太陽光事業に関しては2013年度外資系太陽光モジュールメーカーとして国内出荷量で1位（520メガワット）となる。

URL : www.hanwha-japan.com

【ハンファグループについて】

1952年に設立された韓国の最大手企業のひとつであり、国内企業51社と113の海外現地法人から構成され（2014.1現在）、三つの事業部門（製造・建設、金融、サービス・レジャー）を展開している。60年間にわたる歴史の中で、製造・建設部門は、基礎化学製品、新素材から不動産開発、太陽エネルギーソリューションまで広範囲にわたるサービスを提供している。銀行、保険、資産管理、証券を取り扱う金融部門は、ノンバンク系金融グループとして韓国で2番目の規模であり、サービス・レジャー部門は、小売・リゾート業務などを通じてプレミアム・ライフスタイルを提供している。

URL : <http://hanwha.com/jp>

【サムステックウィンについて】

サムステックウィンは、映像セキュリティ機器（CCTV）、チップマウンタ（半導体チップ搭載機器）、ガスタービンおよびK-9自走砲などを生産する世界的な精密機械メーカー。サムスタレス株式50%、韓国唯一の飛行機メーカーである韓国航空宇宙産業の株式を10%、サムスン総合化学の株式23.4%（自己株式を除く）も保有している上場企業。2013年売上高2兆6,000億ウォン。

【サムスン総合化学について】

サムスン総合化学は、ポリエステル原料であるPTA（高純度テレフタル酸）を生産している。2013年売上高2兆3,642億ウォン。6月サムスン石油化学と合併し、サムスントタルの株式を50%保有。

【サムスタレスについて】

サムスタレスは、2000年サムスングループとフランスのタレス・インターナショナルとの50:50の持分合併で設立された会社である。システム、レーダーなどの監視偵察装備等の防衛装備を生産する会社。2013年売上高6,176億ウォン。

【サムスントタルについて】

サムスントタルは、2003年サムスン総合化学とフランスのトタルグループが50:50の割合で設立された会社で、韓国第4位の規模である100万トンのエチレンを生産している。PE、PPなどの合成樹脂と航空燃料、ガソリン、LPGなどの石油製品を生産。2013年売上高7兆8,691億ウォン。